



一般社団法人西宮青年会議所
2018年度
組織改革ワーキンググループ

報 告 書

2018年度 組織改革ワーキンググループ

目次

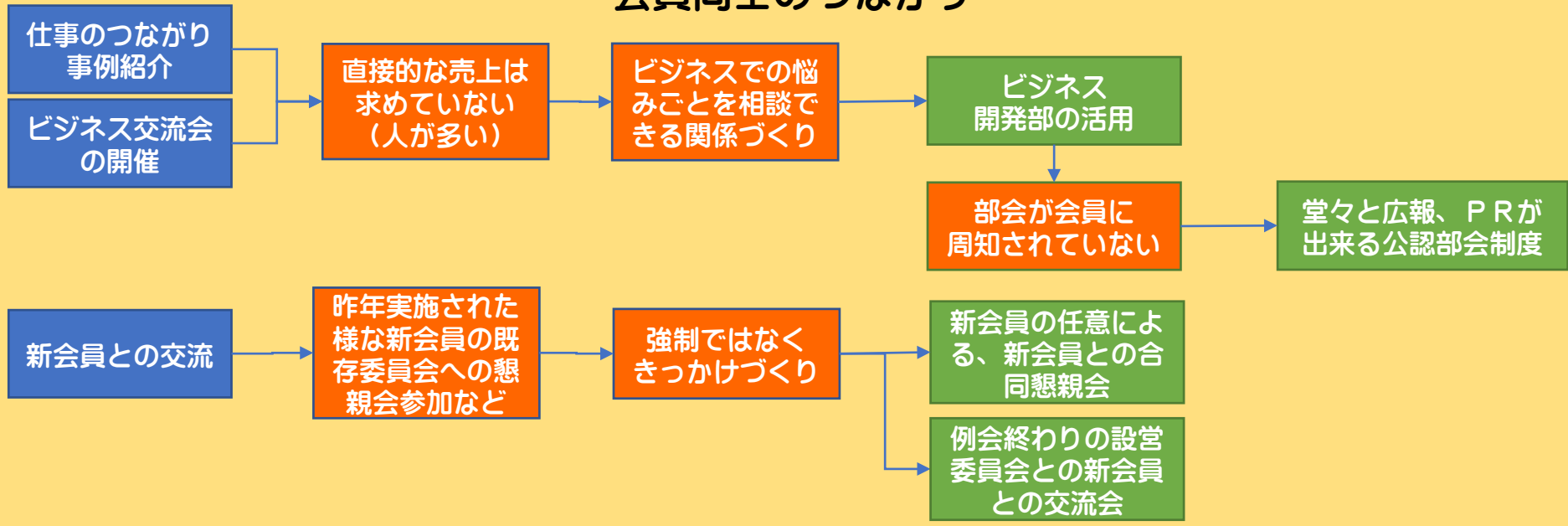
- 多様性を活かせる組織を目指して
～活動の仕方改革～ . . . 3
- 中長期計画（案） . . . 4
- ワーキンググループ 協議内容まとめ . . . 5
- 中長期計画 実施項目別 背景と目的 . . . 8
- 「改革の志士」名簿 . . . 15
- ワーキンググループ日程、実施内容 . . . 16
- 結びに（担当委員長総括） . . . 17



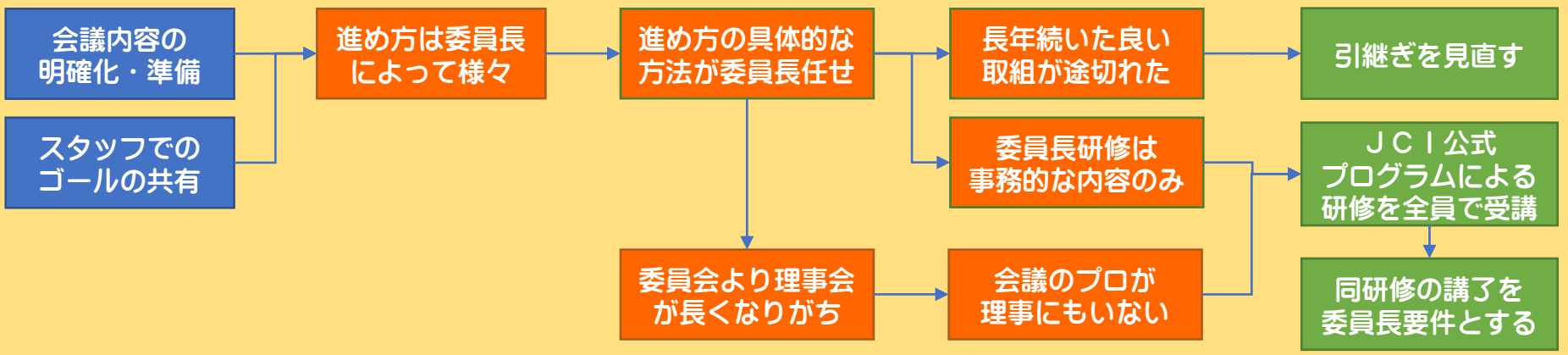
一般社団法人西宮青年会議所 中長期計画（案）（2018年～2022年）

	2018年（初年度）	2019年（2年目）	2020年（3年目）	2021年（4年目）	2022年（5年目）
会員の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・30歳未満の会員の入会数目標及び手法の検討【拡大育成委員会】 ・なでしこ部会検討グループ設置準備【組織改革特別委員会】 ・準会員制度の調査【組織改革特別委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・なでしこ部会検討グループ設置【代表者（投票）及び女性メンバー有志】 ・拡大への女性会員の登用【拡大育成委員会】 ・30歳未満の会員拡大推進【拡大育成委員会】 ・準会員制度の調査【検証担当者・委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・準会員制度の調査【検討担当者・委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・準会員制度創設の検討【組織改革検討グループ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・準会員制度創設
認知度 品格	<ul style="list-style-type: none"> ・広報への補助金活用の検討、情報収集【広報渉外委員会】 ・通年ボランティア実施の検討【組織改革特別委員会】 ・マナーの明文化【組織改革特別委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報への補助金活用【広報渉外委員会】 ・広報についてのコンサルティング活用の検討【広報渉外委員会】 ・対外事業の2カ月前審議【まちづくり、青少年等】 ・通年ボランティア実施【広報渉外or公認部会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報についてのコンサルティング活用【広報渉外委員会】 		
会員同士のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・公認部会制度の創設【組織改革特別委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・公認部会のPR強化【各部会】 ・新会員との交流の強化、例会後の合同懇親会【各委員会】 			
仕事・家庭とのバランス	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧合同引き継ぎ会議の実施【各委員会】 ・引継ぎのシステム化【組織改革特別委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・JCI公式プログラム活用推進【研修委員会】 ・システム化された引継ぎの実施【各委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝会議（朝活）の導入【70周年実行委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・JCI公認プログラムの受講を委員長要件にする【組織改革検討グループ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・全役員のJCI公式プログラムの受講
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改革を検証するシステムの構築【組織改革特別委員会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改革の検証の実施【検証担当者・委員会】 ・ダイナースカード活用推進方法の検討【事務方】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイナースカード加入、年会費決済の推奨【事務方】 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改革検討グループの設置 ・役員選挙の立候補制導入の検討【組織改革検討グループ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選挙の立候補制（公約を掲げた選挙） ・中長期計画実施報告書の作成【検証担当者・委員会】
備考		兵庫ブロック会長輩出	70周年		

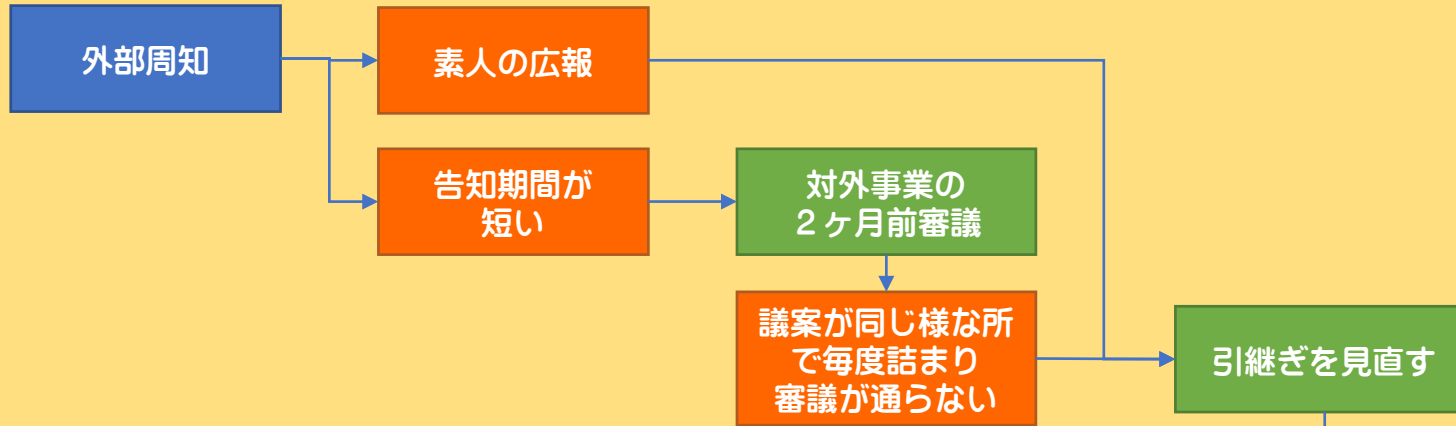
会員同士のつながり



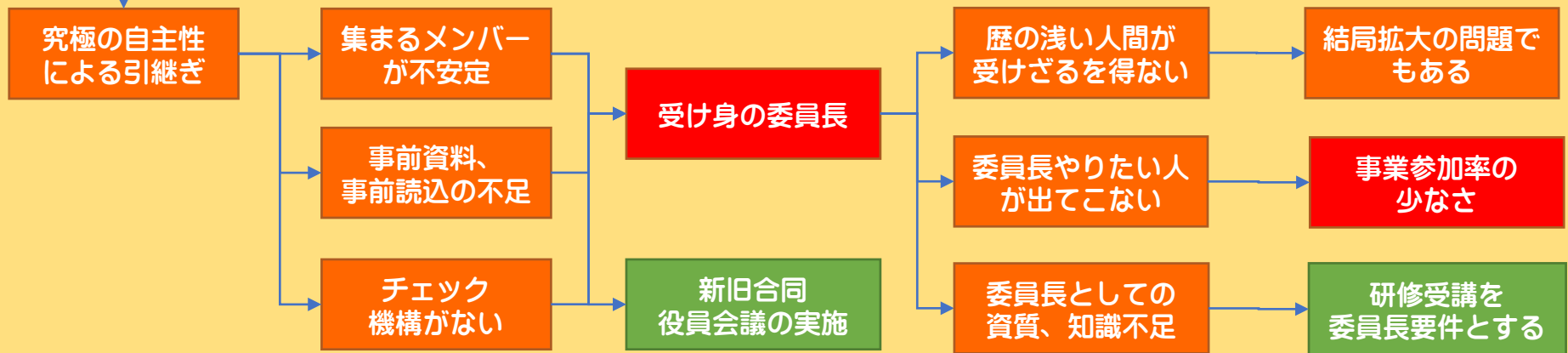
家庭・仕事のバランス



認知度について

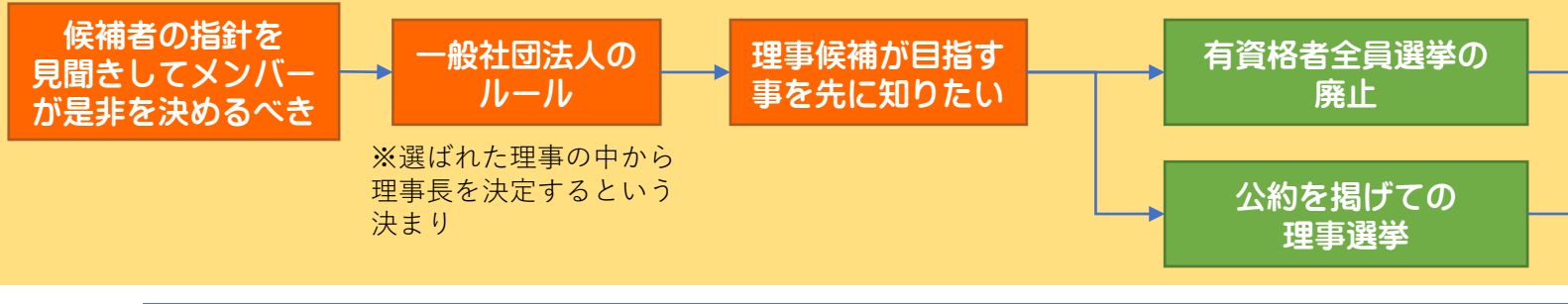


現在の引継ぎは？

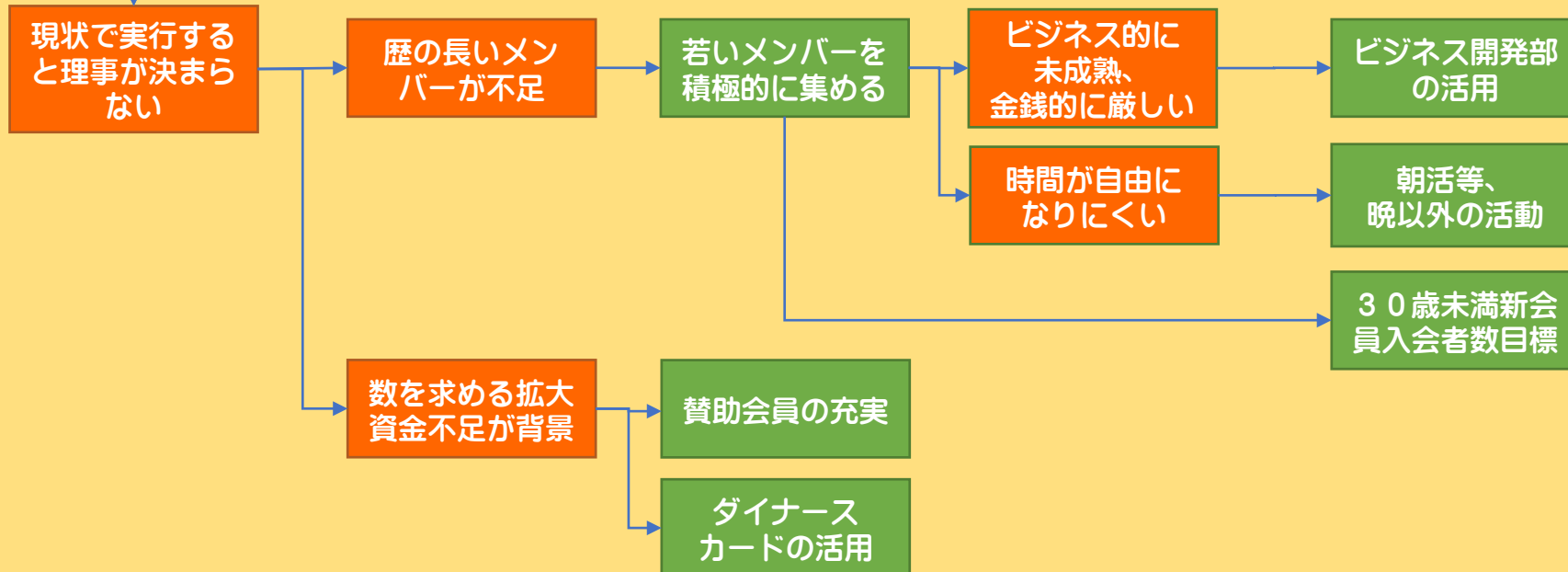


新旧上役、
3役揃っての引継ぎ会議

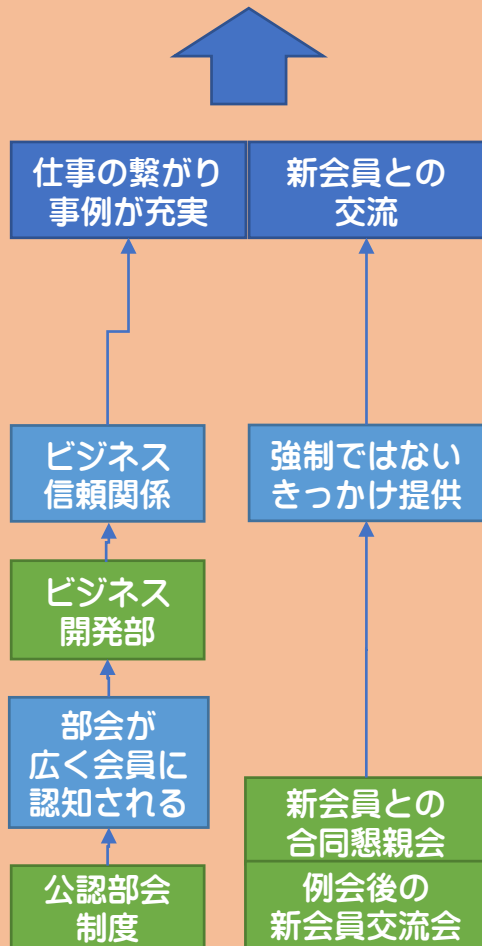
立候補者による理事選挙が出来る組織を



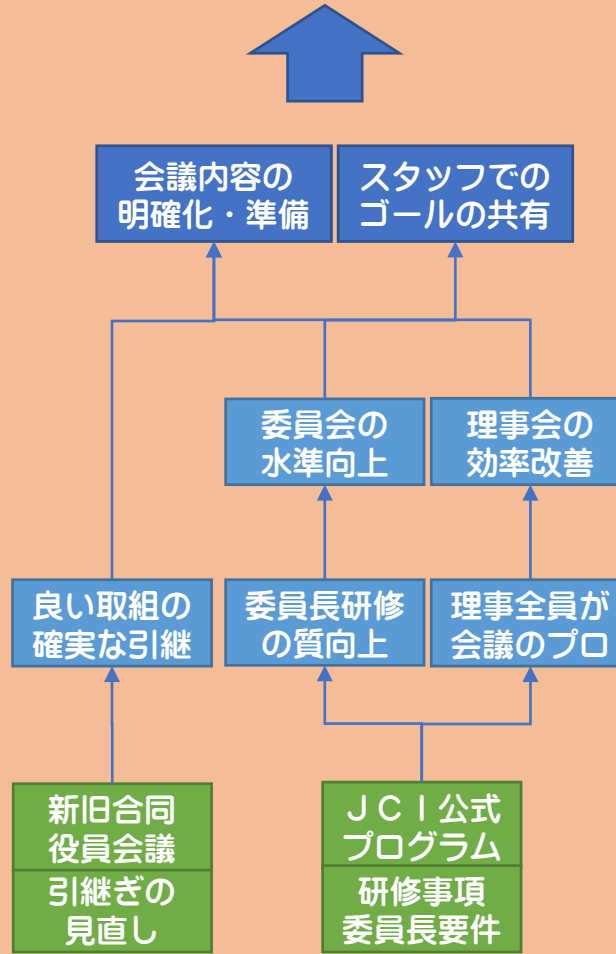
理想の組織に向けて



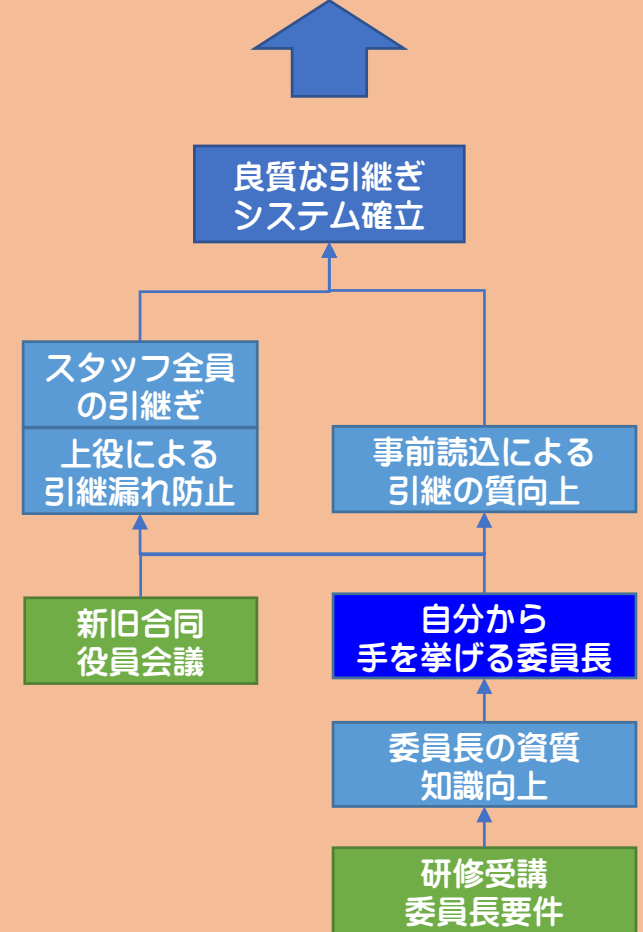
会員同士のつながりが強化される



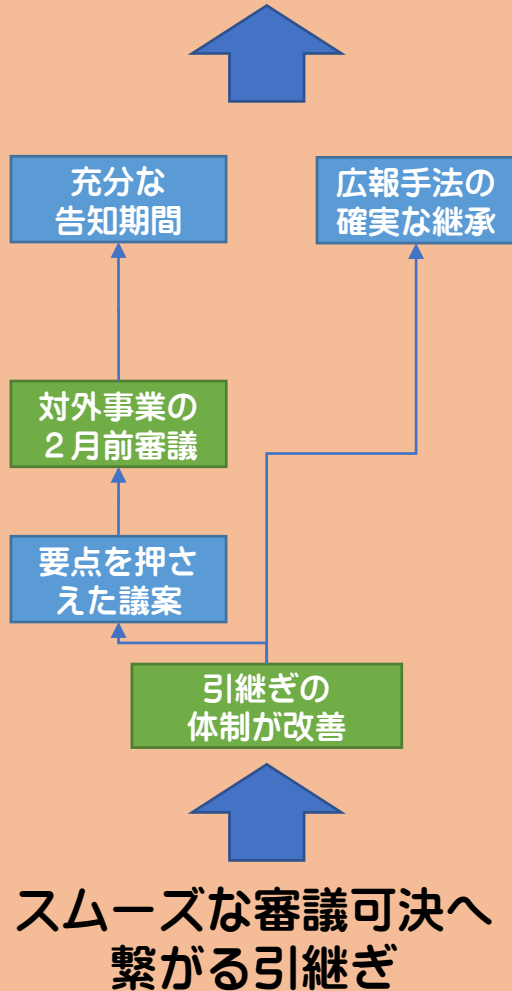
家庭・仕事とのバランスを保てるようになる



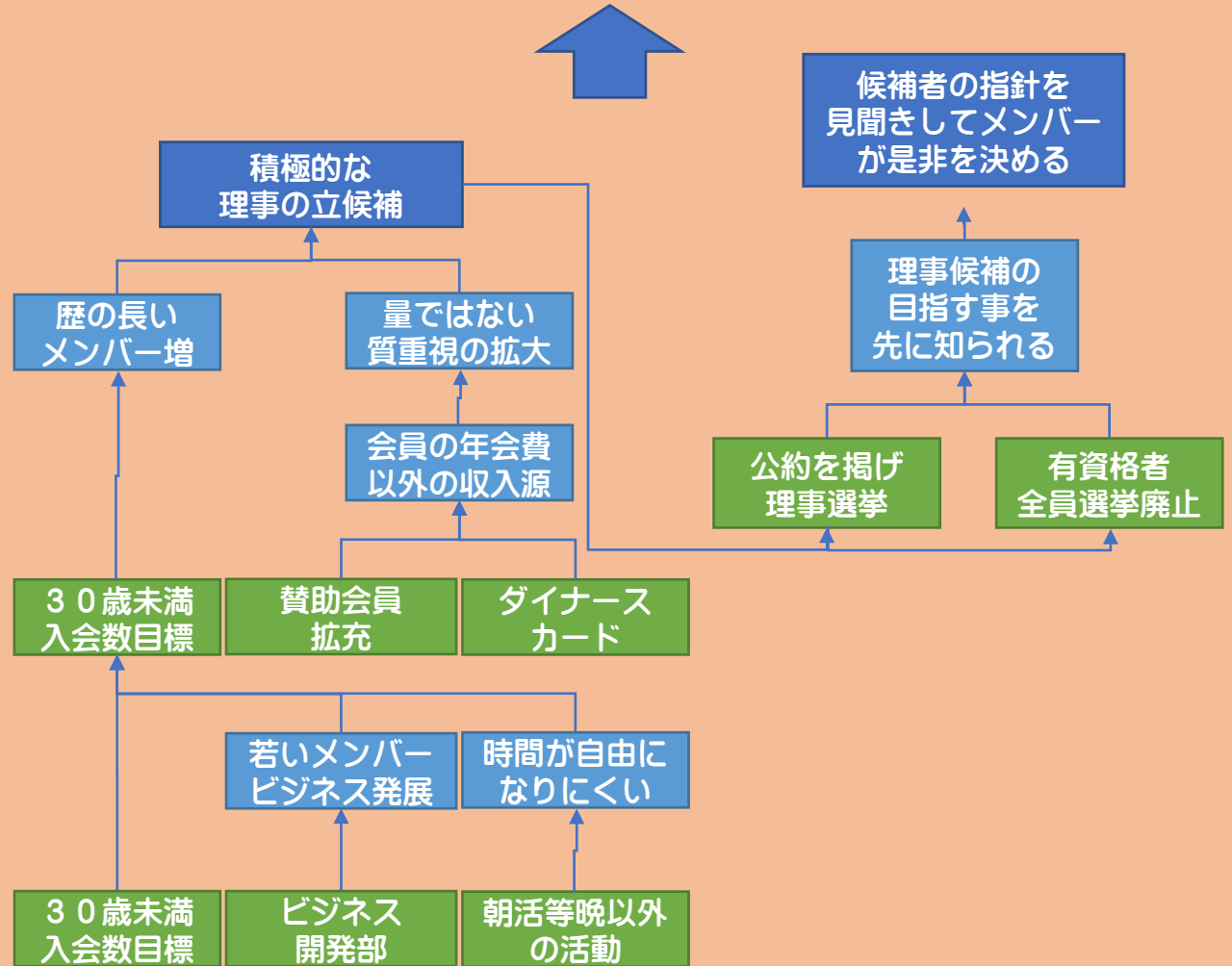
スムーズな審議可決へ繋がる引継ぎ



認知度の向上



立候補者による理事選挙が出来る組織



時間の調整、
自由が利かない
会員

ビジネスや
経済的に
未成熟の会員

早朝会議
(朝活)導入

準会員制度
創設

ビジネス開発部等
部会の活用

多様性のある
会員構成

将来の理事候補
になる若いメン
バーのビジネス
発展

対外事業の
告知期間不足

素人の広報

広報に使える
予算が少ない

青年会議所の
イメージ、
低い認知度

対外事業の
2ヶ月前審議

広報コンサルティング

引継ぎの
システム化

広報への
補助金活用

通年ボランティア

マナー明文化

認知度と
事業の動員数増

広報手法の
発展及び
確実な継承

事業以外での
認知度及び
イメージアップ

ビジネスの悩み
を相談出来る
関係づくり

周知されてい
ない部会の存在

強制ではない
新会員との交流
きっかけ



ビジネス開発部等
部会の活用

公認部会制度

新会員との交流の
強化

例会後の合同懇親
会



ビジネス面での
会員同士の
強い繋がり

部会による
交流機会の増加

既存会員と新会
員のスムーズな
親睦

自主性による
引継ぎ

通らない審議と
増える会議時間

資質、知識不足

受け身で
引き受ける役職



新旧合同引き継ぎ
会議の実施

引継ぎの
システム化

JCI公認プログ
ラムの受講



システム化によ
る確実な引継ぎ

スムーズな
審議可決、
委員会運営

委員会運営
および事業の
水準向上

自分から手を挙
げ挑戦する役職

組織改革の
検証実施システム

中長期計画報告書



組織改革の確実な
履行と不具合の修正

「改革の志士」名簿

【2011年度入会】 大前 春代

【2013年度入会】 中野 郁吾

【2014年度入会】 富本 隆介

【2015年度入会】 熊谷 悟 長谷川 哲 藤永 雅也

【2016年度入会】 坂上 千明 篠田 憲一 原田 和昌

【2017年度入会】 朝野 亘 井筒 健史 上田 和毅 川崎 人志 川瀬 佑治
近藤 仁史 古寺 俊祐 白井 恒佑 谷岡 雄介 仲村 亮介
山下 侑士 渡辺 敬介

【副理事長】 西中 督(座長)

【常任理事】 山上 吉法

【組織改革特別委員会】 林 大輔 (理事委員長、事務局長)

俵 稔 (副委員長、事務局次長)

坂戸 孝行 中原 陽介 (運営幹事)

赤井 智顕 木嶋 将人 南迫 吉洋 城 千尋 (委員)

Be Proud

同心と団わりが組織とまちを愛える

ワーキンググループ日程、実施内容

開催スケジュール	参加人数 (WGメンバー)	現状分析・ 施策の洗い出し	中長期計画 の策定	定款・各種規程 組織改革宣言 策定
3月19日	13人	説明会		
4月18日	14人	現状分析		
5月21日	14人	施策の考案		
6月13日	10人		計画案作成	
7月18日	11人		計画案修正	
8月17日	11人		採決	
9月12日	11人			変更案・宣言案 作成
10月15日	13人			採決

結びに(担当委員長総括)

西宮青年会議所には長い歴史と力強い伝統があり、私達はその中で築かれた制度や習慣の中で貴重な学びの機会を享受しています。しかしながら、時代が変化する中で西宮青年会議所に求められることも変化していきます。より良い西宮のまちを創る「奉仕」を信条として掲げる私達には、変化していくまちの需要に応え続けることができる、様々な価値観を持つ青年が集う多様性のある組織への変革が求められています。

そこで、2018年度一般社団法人西宮青年会議所 第68代 森本 邦裕 理事長のもと、私が組織改革特別委員会理事委員長を仰せつかりました。

5年後、10年後の未来を見据え、変化していく社会の中でも、多様性のある会員が生き生きと活躍し変化していくまちの需要に応え続ける運動を展開できる組織であり続けるためには、役員だけで全てを決めるのではなく、これからの西宮青年会議所を担っていく若手メンバーとともにこの組織の未来を考えていくことが必要であると考え、この組織改革ワーキンググループを発足し、年間を通して全8回開催させていただきました。

まず最初に、組織の本質を見つめ直した上で、良いところをより伸ばし、悪いところを改善するための施策の考案を行いました。続いて、考案した施策の中で緊急度、重要度を元に優先順位を定め、2018年度から2022年度までの中長期計画として取りまとめました。

最後に、会員が仕事や家庭との良好なバランスを保ちながら活動できる制度や仲間との絆を深められる制度を創るための規程変更について協議し、一年間の組織改革に向けた活動を受け継いでいくための「多様性を活かせる組織を目指して ～活動の仕方改革～」と題した組織改革宣言を制定いたしました。

この一年間、公募により組織改革ワーキンググループに参加いただいた21名の「改革の志士」たちとともに創り上げた中長期計画や各種規程、組織改革宣言が、時代が流れる中でも、それぞれの時代の青年が多様な個性を発揮し、その時代の西宮のまちに求められる運動を展開することができる組織の礎となっていくことを確信しております。

最後に、私自身はあと10年間、西宮青年会議所の一員として活動させていただきます。この度策定させていただいた中長期計画の実現に向けて私自身が先頭に立って邁進していくことをお誓い申し上げ、担当委員長の総括とさせていただきます。